



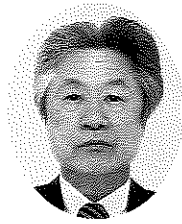
Title	新年のごあいさつ 第189号
Author(s)	久多里, 文也; 藤井, 睦子; 川人, 優 他
Citation	makoto. 2020, 189, p. 2-7
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/85511
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

❀ 新年のごあいさつ ❀



一般財団法人大阪防疫協会
理事長

久多里 文也

新年あけましておめでとうございます。
皆様方には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は何かとお力添えを賜り有難うございました。

本年もご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年台風や大雨によって各地で甚大な被害がありました。

気象庁は、一昨年の西日本豪雨について、個別の豪雨・災害では初めて地球規模における温暖化が一因との見解を示しました。この地球温暖化には様々な影響が伝えられておりますが、その一つとしてIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）は、北極と南極の氷床がこれまでにない速さで溶けており、海水温も上昇していることから、今世紀末には海面が90cm以上上昇するとされています。氷床の融解により、大量の真水が海水に加わることによって、大西洋の海流システム（大西洋南北熱塩循環）が次第に弱まり、その結果世界的な気候変動の要因となりハリケーンや大雨、熱波、干ばつ、寒波などの極端な気象につながるなどの報道がなされています。このような出来事は、私が以前に観ましたSF・パニック映画のストーリーと類似しております。映画では、地球温暖化により南極大陸の氷が溶け海流が変化することによって、熱塩循環が止まり、世界各地で異常気象が発生し地球は氷河期に突入したというような内容でした。また、気候変動は、感染症の新たな感染経路を生み生態系のあり方を変え、野生動物や人間の間に致死的な感染症の大流行につながる可能性もあり、その影響は計り知れません。国連の気候行動サミットで、スピーチをしたスウェーデンの環境活動家グレタ・トゥーンベリさん16歳の少女の眼差しに対して、私たちが謙虚に受けとめていく必要性を感じました。感染症といえば一昨年より、引き続き風疹と麻疹が流行しており、風疹は、先天性風疹症候群を、麻疹は、免疫がリセット（免疫記憶を削除）されるとの研究も発表されており、ワクチン接種の重要性が増したのではないのでしょうか。また、SFTSやデング熱など節足動物が媒介する感染症も危惧されています。弊会では、感染症媒介生物や、その多様性など最新の知識と技術（IPM）で対応し、皆様方に安全と安心をお届けできますよう努めてまいりますので、今年もよろしくお願いいたします。

❀ 新年のごあいさつ ❀



大阪府健康医療部長

藤井 睦子

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会におかれましては、益々御清祥のこととお慶び申し上げますとともに、日ごろから本府の健康医療行政に格別の御支援、御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

おとしから関東圏で流行している風しんですが、昨年は府内で例年の約10倍程度の件数が報告されました。主な感染者は、過去に定期予防接種の機会がなかった40～50歳代の男性が半数を占めており、改めて予防接種行政の重要性を認識することとなりました。

なお、この世代の男性へは、居住市町村から無料で風しん抗体検査と予防接種を受検できるクーポン券が発送されています。加えて、府では先天性風しん症候群の発生を防止するため、府内約1,040の医療機関の協力を得て、妊娠を希望する女性等に無料の抗体検査を実施しており、風しん排除に向け施策を進めているところです。

また、本年7月には「東京オリンピック・パラリンピック競技会」が、2025年には「大阪・関西万博」が開催されます。これら国際行事の開催により、国内外の人の行き来がさらに活発となると予想される中、海外からの感染症や外来生物の侵入など危機事象の発生リスクが増加する懸念があります。

「安心・安全なまち大阪・関西」を世界に発信するためには、これら危険事象に対して、これまで以上に行政として迅速に対応していただく必要があります。貴協会がこれまで培ってこられた専門的知見は、これら危機事象に対応するための非常に心強いものであり、これからも引き続き本府の健康医療行政に対して、御協力いただきますようお願いいたします。

結びに、貴協会の益々の御発展と皆様方の御健勝をお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



大阪市健康局
生活衛生担当部長

川 人 優

あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様方には、健やかに新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

貴協会の皆様方におかれましては、平素から環境衛生行政をはじめ大阪市政の各般にわたり格別の御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、貴協会におかれましては、防疫に関する相談事業に日頃から取り組まれており、その社会貢献に対して深く敬意を表する次第であります。

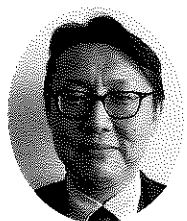
近年、毎年のように地震や台風等による大規模な災害が全国各地で発生しており、災害に対する備えや復旧・復興のため迅速な体制づくりの重要性が高まっております。また、2025年に夢洲で開催される大阪・関西万博等、国内外から多くの人が集まる催しには、会場となる施設及びその周辺の衛生害虫等の防疫対策が重要となります。

貴協会が永年にわたり培ってこられた豊富な知識や経験は、これら災害への備えや衛生害虫等の対策に取り組む上で非常に心強く、今後とも、専門的な見地から地域を支え、緊急時における住民の安全・安心の確保に御尽力いただくとともに、公衆衛生の向上に寄与いただくことを期待申し上げます。

大阪市といたしましては、府市一体となつて、豊かな魅力を備えた国際都市へと大阪をさらに発展させるとともに、大規模災害に備えて都市の防災力を強化し、将来にわたり住民が安心・安全に生活ができる大阪の実現をめざし全力で取り組んでまいりますので、皆様方の御理解、御協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、一般財団法人大阪防疫協会の今後ますますの御発展と会員の皆様方の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、新年のあいさつといたします。

❀ 新年のごあいさつ ❀



堺市健康福祉局
健康部長

松 木 信 生

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、令和初めての新春をお健やかに迎えられ、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。また旧年中は本市保健衛生行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここ数年、日本列島は毎年のように地震、台風、火山噴火など大規模な自然災害に見舞われています。昨年は台風15号、19号とたて続けに上陸し、多くの家屋が浸水し、尊い人命が奪われました。本市においても、このような危機事象を常に想定した対策の必要性を再認識したところであり、迅速かつ効果的な対応ができるよう日々取り組んでおります。

貴協会におかれましては、感染症予防や防疫対策に関する豊富な知識、経験、高度な技術を長年にわたり培われていることと存じます。緊急時においても、専門的な立場から、住民の安全・安心の確保にお力添えいただけることとご期待申し上げます。

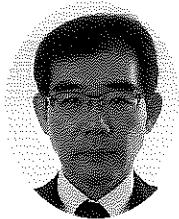
さて、昨年、本市は明治22年に市制を施行してから130周年を迎えました。また、仁徳天皇陵をはじめとする「百舌鳥・古市古墳群」が、大阪府で初めてとなる世界文化遺産に登録されました。さらに、今年は東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。本市にも国内外から多くの旅行客が訪れることが予想されます。

その一方で、感染症の拡大が懸念されることから、本市では、大阪府をはじめとした関係機関と協力し、サーベイランスの強化やスムーズな情報共有など、感染症まん延防止に向けて適切に活動できるよう、取り組んでおります。今後も引き続き、市民が住み慣れた地域で健康に安心して暮らせるよう、保健医療分野における取組みを進めてまいります。

貴協会におかれましては、今後とも本市の保健衛生行政の推進に引き続きご尽力賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、一般財団法人大阪防疫協会の益々のご発展とご健勝、そして、本年が皆様にとりまして健康で幸多い一年となりますことを心よりお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



東大阪市健康部長

島岡 正之

新年明けましておめでとうございます。
一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げますとともに、日ごろから本市の保健衛生行政の推進に格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、地球温暖化などの影響で予想を超える災害が、世界規模で発生しております。日本は、その自然状況から、地震、台風、豪雨など様々な災害が発生しやすい環境にあり、災害に向き合う宿命にあると言えます。昨年は、激甚災害に指定された台風第19号の暴風雨による災害や千葉県豪雨災害などが発生し、その被害は甚大で多くの尊い命が奪われています。今後も、異常気象の増加が懸念され、異常高温やゲリラ豪雨、台風などの発生頻度の増加が予想されます。また、気候変化により、マラリアなどの低緯度の感染症が高緯度に拡大する可能性も指摘されています。本市におきましても、危機管理事象発生時における感染症予防・拡大防止対策や環境衛生対策について、関係部局との連携強化に努めております。

さて、昨年9月から11月にかけて、ラグビーワールドカップ2019が日本で開催され、本市内でも東大阪市花園ラグビー場にて4試合が行われ成功裏に幕を閉じました。開催会場のラグビー場がある花園中央公園において、感染症媒介蚊対策として、リスク地点を選定のうえ、蚊の生息調査やウイルスの保有状況調査を行い、その他幼虫対策として、化学的防衛を実施いたしました。今後も引き続き蚊の防除体制の整備・強化を図ることにより、市民や本市を訪れる方々が安心・安全に過ごすことができるよう取り組んでまいります。

貴協会におかれましては、永年にわたり培ってこられた防疫対策に関する豊富な知識や高度な技術を遺憾なく発揮され、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、一般財団法人大阪防疫協会の今後益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



高槻市健康福祉部長

関本 剛司

新年明けましておめでとうございます。
新春を迎え、一般財団法人大阪防疫協会の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴協会におかれましては、長年にわたり感染症の予防及び公衆衛生の向上のための社会貢献に取り組まれていることに対し、深く敬意を表します。

一昨年は大阪府北部を震源とする地震や台風21号等により、本市でも多くの人的及び住宅等の被害が発生し、市民生活に大きな影響が生じたところですが、昨年も東日本を中心に台風15号、台風19号により、甚大な人的被害、停電、河川の氾濫等が生じ、更なる課題を再認識する1年となりました。

本市でも今後、自然災害から市民を守る強靱な街づくりに取り組むとともに、市民福祉の更なる充実を図ることで、あらゆる世代が安心して将来に希望を抱くことのできる、高槻の「みらい創生」を目指してまいります。

さて、近年は訪日する外国人が年々増加し、特に大阪の伸び率は全国を大きく上回っています。今後も東京オリンピック・パラリンピックの開催に加え、2025年には、舞洲にて大阪・関西万博が開催されます。これらの国際的な大規模イベントの開催により、国内外からの多数の来阪者が予想されるなか、本市においては感染症に関するサーベイランスの対策強化など、健康危機管理体制の充実を図ってまいります。

貴協会におかれましても、永年にわたり培ってこられた防疫活動に関する豊富な知識や高度な技術により、今後とも住民の安全・安心の確保にご尽力いただくとともに、本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



豊中市健康医療部長

松岡 太郎

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、一般財団法人大阪防疫協会の皆様には、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本市保健衛生行政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、平成31年4月の機構改革により、新しく「健康医療部」が誕生しました。これは、従来の「健康福祉部」を「福祉部」と「健康医療部」とに二分するもので、「健康医療部」には、保健所の4つの課と国民健康保険を担当する3つの課、併せて7つの課が属します。「健康福祉部」を二分しますので、文字通り、「福祉部」と「健康部」で良いように思いますが、「健康部」ではなく「健康医療部」であることが、部の存在意義の一つのヒントであると考えています。今後は、地域の医療機関や医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーションなど医療職としっかりと連携しながら、“2025年問題”あるいは“2040年問題”など将来の課題を見据えて、地域医療の充実に微力を尽くしたいと思います。部のモットーは、その名称の由来から、「“福祉”を忘れずに、市民の“健康”を思い、“医療”を考える」としました。これまでと同様に、災害対応、感染症対策や食の安全などにも着実に取り組みながら、“安全安心・健康先進都市 とよなか”の実現を目指して、職員一丸となって邁進したいと思います。

貴協会におかれましては、永年にわたり培ってこられた防疫や環境衛生対策に関する豊富な知識と経験、高度な技術をいかに発揮され、本市の保健衛生行政の推進に、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、一般財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



枚方市健康部長

山崎 宏

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、健やかに佳き新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、本市保健衛生行政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は「平成」から「令和」へと元号が変わり、新しい時代の幕開けに日本中がお祝いムードに包まれました。一方、東日本を中心に記録的な大雨をもたらした台風19号では、土砂崩れや河川の決壊により、多くの方々が避難所生活を余儀なくされる状況となりました。一日も早い復旧をお祈りするとともに、被災された方々に対し、心からお見舞い申し上げます。

本市では一昨年の大阪府北部地震を教訓に、昨年6月、「枚方市総合防災訓練（枚方ひこ防‘z’2019）」を実施しました。訓練では、保健所長を本部長とする「保健医療調整本部」を設置し、被災施設の情報収集や関係機関との連絡調整等、災害時の保健医療活動の確認を行いました。その結果、避難所との情報伝達方法など、一部検討を要する課題も判明したため、マニュアル等の見直しを進めております。

また、今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、多数の外国人の訪日予想されますが、そのような中、昨年、東京都内において海外渡航歴のないデング熱を発症した患者が確認されるなど国内での感染リスクの増大や外来生物の侵入に対応するため、さらなる危機管理体制の強化が求められています。

貴協会におかれましては、様々な危機事象に際してもこれまで培ってこられた豊富な知識、経験と高度な技術を遺憾なく発揮され、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



八尾市
健康まちづくり部長

西田 一 明

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、本市保健衛生行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日本において、ここ数年、地震、台風、大雨等による大きな災害が多発しております。

特に、去年は、想定を超える台風や大雨が頻発し、東北、関東、中部地方と広範囲にわたり多くの河川が決壊する等、甚大な被害が生じました。

被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

本市としましても、大規模災害時において、市民の安全を確保するため迅速に対応できるよう、現在、災害発生に備えた、平時並びに災害時の保健所の役割を記載した「八尾市地域防災計画に基づく保健所班マニュアル」の作成を進めているところであります。

さらに、去年は、本市で実施している「蚊媒介感染症に係る媒介蚊サーベイランス事業」において、採集したコガタアカイエカから、日本脳炎ウイルスが検出されました。そこで、本市では、改めて市民の皆様に対し、「日本脳炎ウイルス」の予防接種を受けること、また、「蚊に刺されないよう」より一層の注意を行っていただくようお願いしたところです。

今後、本市としても、このような事例に対して、迅速に対応する必要があることから、関係機関と連携し適切に対処していくことが必要であると考えております。

貴協会におかれましては、永年にわたり培ってこられた防疫、環境衛生対策等に関する知識、経験等をお役立ていただき、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



寝屋川市健康部長

溝口 正 博

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様方におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は本市保健衛生行政の推進に格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本市は昨年4月1日より中核市に移行し、寝屋川市保健所を開設することとなりました。

市保健所の設置に当たっては、単に大阪府から業務を引継ぎ実施するだけでなく、市独自の取組として、「保健所すこやかステーション」を福祉と子育て部門が配置されている市立保健福祉センターに開設し、難病・精神保健などの相談窓口を配置しました。このことにより、市民の利便性向上とともに、市民の命と健康を守るための体制強化を図ったところです。

また、今後発生が懸念される南海トラフ地震等の大規模災害だけでなく、近年、甚大な被害が発生している台風・豪雨等の風水害も含めた自然災害への備えが必要であることから、保健所が果たすべき保健医療活動の調整機能を再確認し、体制の整備を進めてきたところです。今後も、三師会、病院協会をはじめとした関係機関と連携し、市民の安全・安心のため、健康危機管理体制の更なる充実を図ってまいります。

貴協会が長年にわたり培ってこられた防疫対策などに関する豊富な経験や知識は、災害発生時には非常に心強いスキルとなります。市民の安心・安全の確保にご尽力いただけることを期待しますとともに、平常時においても、本市衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々のご発展と皆様方のご健勝をお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



一般財団法人
阪大微生物病研究会

理事長 山西 弘一

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は当財団のワクチン事業への格別のご理解とご尽力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

新元号「令和」の元年となった昨年ですが、ラグビーワールドカップにおける日本代表チームの歴史的躍進といった明るい出来事も記憶に新しい一方で、台風19号をはじめ日本列島に甚大な自然災害が発生し、暴風や豪雨による河川の氾濫等により大きな被害をもたらしました。被害に遭われた方には深くお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧と復興を心より願っております。

さて、感染症対策の分野に目を移しますと、去年は、厚生労働省の主導による「風しんに関する追加的対策」が開始されました。これは、風しん抗体陰性者の多い昭和37年度～昭和53年度生まれの男性を対象として、無料で風疹の抗体検査および予防接種が受けられるという事業です。当財団でもMRワクチンの増産・安定供給により、同事業に協力してまいりました。本年も継続して我が国の風しん対策に貢献すべく、取り組みを続けてまいります。

本年は、東京にて夏季オリンピック・パラリンピックが開催される予定であり、また大阪においても、2025年に万国博覧会を控えています。感染症対策は、このような大規模かつ国際的なイベントを実現するためにも不可欠な土台のひとつであると考えております。当財団は昨年、設立85周年を迎えましたが、当財団の使命はこれまでもこれからも変わることはありません。「優れたワクチンを通じて、世界中の人々の大切な命を守る。」そのための着実な歩みを、当財団はワクチンの安定供給という形で進めてまいります。

結びとなりましたが、貴協会の益々のご発展と、会員の皆様方のご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

